

ぽ 島ごとぼるの展

PORNOGRAFFITI EXHIBITION

開催中～9月8日(日)

ポルノグラフィティ メジャーデビュー25周年を記念して、メンバーの故郷の因島にて開催。音声ARを利用した謎解き企画の開催や、懐かしのミュージックショップの期間限定復活、フィルムコンサートの実施など、島中で様々な企画を開催中です！



▲特設サイト



イベント初日の7月20日(土)に開催されたオープニングセレモニーでは、ポルノグラフィティのお二人がサプライズ登場しました。



島ごとぼるの展コラボデザイン
因島水軍まつりマフラータオル
2024年モデル発売中

【9月8日(日)までの期間限定販売】
¥1,500円
因島総合支所しまおこし課
(☎0845-26-6212)



2024
因島水軍まつり
については
19頁をご確認
ください。

メンバーの故郷 因島でLIVE開催



8月31日(土)
9月1日(日)
場 因島運動公園



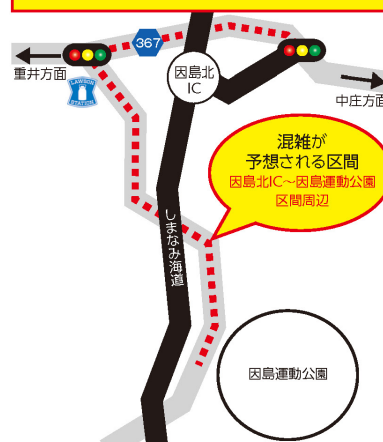
▲特設サイト

LIVE当日の交通規制

8月31日(土)、9月1日(日)
10:00～19:00頃

来場者のアクセスバスを運行するにあたり右記の区間で大変混雑が予想されます。状況により、交通規制(信号機の操作等)を実施する場合があります。ご迷惑をおかけしますが、ご了承・ご協力をお願いいたします。

交通状況により交通規制を実施させていただく場合がございます。
※因島北インター交差点・因島北インター(北)交差点



因島で暮らす*

1タウン移住
ゲストハウスを営む
續木絵美さん



今 年6月に因島三庄町でゲストハウス「THE HOME」をオープンした續木絵美さん。結婚を機に、大阪から移住して10年。今ではすっかり因島に馴染み、島出身の人よりも「因島人」と称されるほどです。

因島出身アーティスト、ポルノグラフィティの大ファンでもある彼女にとって、因島はあこがれの地だったと話してくれました。「因島は田舎だ」との評価を聞いていた島、実際に移住してみると「もっと田舎だと思っていた。島内で生活もある程度完結できて、意外と不便じゃない。」と感じたそうです。因島は自然を近くに感じ、季節の移り変わりが実感できる場所だと感じているそうです。

空 家を改装したゲストハウス。持ち主がたまに草を刈りに来る程度空家だった物件を空き家バンクを通じて再利用されることとなりました。訪れた人も周辺に住む人もゆったりとストレス無く過ごせるよう、家が密集していない土地というのが物件探しの条件の1つだったそうです。

高台にあるゲストハウスから眺める景色は、訪れた人の心を穏やかに包み込んでくれます。広がる青い空と海、そこに広がる白い雲や船の立てる白波の軌跡。空気の澄んだ日には四国の島まで見ることができ、水平線に島々が重なる、因島からの美しい景色を堪能できます。

高 校生のときに和太鼓を経験していた續木さんは、現在水軍太鼓のチームに所属しています。移住したばかりのころは知り合いがいなかった因島。彼女は持ち前の行動力で地域コミュニティに参加し、交友関係を広げていきました。自分でお店を営んでいる仲間に触発され、「自分で始めてみるのも楽しいかもしれない」とゲストハウス経営に踏み出したそうです。今後は近隣のお店とのコラボも企画していく予定だそうです。



ゲストハウス THE HOME

